

女子美アートミュージアム開館25周年記念特別展

堀文子の出発点

～女子美からはじまる写生帖・下図・本画～

【前期】2026年5月22日(金)～6月27日(土) 【後期】7月2日(木)～8月4日(火)

日曜・祝日休館 ※ただし、7月19日(日)・20日(月・祝)は特別開館



堀文子《アフガンの王女 大下図》

堀文子《アフガンの王女》2003年
個人蔵（葦崎大村美術館寄託）

- 会場 女子美アートミュージアム
神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス10号館1階
- 開館時間 10:00～17:00（入館は16:30まで）※ただし、初日の5月22日は11:00開館
- 観覧料 500円 ※以下に該当する方は無料
大学生以下(大学院・専門学校生含む学生証提示者)・障がい者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名
- 主催 女子美術大学、女子美術大学美術館
- 特別協力 一般財団法人堀文子記念館、株式会社ナカジマアート
- 協力 葦崎大村美術館、株式会社米ハグループ
- 後援 相模原市、相模原市教育委員会、神奈川新聞社、株式会社タウンニュース社 相模原支社

展覧会概要

女子美アートミュージアム開館25周年記念特別展

堀文子の出発点 ～女子美からはじまる写生帖・下図・本画～

- 会 期 【前期】2026年5月22日(金)～6月27日(土) 【後期】7月2日(木)～8月4日(火)
日曜・祝日休館 ※ただし、7月19日(日)・20日(月・祝)は特別開館
- 会 場 女子美アートミュージアム
〒252-8538
神奈川県相模原市南区麻溝台1900
女子美術大学 相模原キャンパス10号館1階
- 開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで) ※ただし、初日の5月22日は11:00開館
- 観覧料 500円 ※以下に該当する方は無料
・大学生以下(大学院・専門学校生含む学生証提示者)
・障がい者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名
- 主 催 女子美術大学、女子美術大学美術館
- 特別協力 一般財団法人堀文子記念館、株式会社ナカジマアート
- 協 力 韮崎大村美術館、株式会社米八グループ
- 後 援 相模原市、相模原市教育委員会、神奈川新聞社、株式会社タウンニュース社 相模原支社

企画趣旨

100年の生涯を絵筆に捧げ、「命の画家」と称された日本画家・堀文子（1918-2019）。その創作の原動力となったのは、冒険家のような好奇心と、科学者のような探究心です。日々の感動を刻みつけた膨大な数のスケッチや、計算し尽くされた緻密な下図の数々に、その息吹を感じとることができます。

このたびの展覧会に際し、当館では一般財団法人堀文子記念館よりお預かりした資料の調査を実施しました。1万2千点にも及ぶ資料の中から、本画に加え、創作の過程で生み出された貴重な下図や写生帖を、かつてない規模で一挙公開します。画家が画業の「出発点」と語る女子美術専門学校（現・女子美術大学）時代の作品から晩年までの主要作品と、創造の「出発点」といえる小下図・素描などをあわせて展示します。本展は、単に完成された絵画を鑑賞するだけでなく、ひとりの画家がいかにして制作し、生命の息吹を絵画に宿していったのか、その驚くべきプロセスを解き明かす試みです。

堀文子は1918年、東京に生まれます。1936年から女子美術専門学校師範科日本画部で学び、若くして頭角を現します。創造美術（現・創画会）での活躍、上村松園賞の受賞など、新時代の旗手として注目を集めました。50歳を目前に大磯へ移住。その後も軽井沢、イタリア・トスカーナ地方にアトリエを持ち行き来。さらには80歳を超えてなお、幻の花ブルーポピーを求めてヒマラヤへと足を運ぶなど、新たな表現への挑戦を生涯貫きました。2011年には女子美術大学より名誉博士号を授与され、2019年に100歳で人生の幕を閉じました。

堀文子が晩年を過ごした大磯町には、堀が私財を投じて守り抜いた樹齢300年を超える「ホルトの木」があります。その木の苗木が2014年、本学相模原キャンパスに植樹されました。この木は、堀文子と女子美を繋ぐ生命の象徴であり、画家の「自然」と「生命」への深い敬意が、未来の学生たちへと脈々と受け継がれていることを物語っています。堀文子の志を宿し、大きく枝を広げた「ホルトの木」。この女子美で彼女の足跡を辿るとき、私たちは、尽きることのない人間的魅力と、孤高の筆致が切り拓いた独創的な世界を再発見するでしょう。

展覧会構成 (予定)

序章	「ホルトの木」 堀文子と大磯アトリエ—女子美をつなぐ生命の樹
第一章	1936-1940 女子美術専門学校（現・女子美術大学）時代
第二章	1941-1960 戦中の活動・新しい日本画の追求
第三章	1961-1966 ヨーロッパ・メキシコ、初個展
第四章	1967-、1979- 大磯と軽井沢 二つのアトリエ
第五章	1987-1992 イタリア・トスカーナのアトリエへ
第六章	1995-2019 自由な旅へ アマゾン、メキシコ、ペルー、ヒマラヤ、ネパール

みどころ

1 初期資料から晩年の傑作まで——女子美時代の原点と代表作が共演

女子美術専門学校（現・女子美術大学）時代に描かれた貴重な《自画像》や、戦時中のスケッチなど、初期の歩みから晩年までを辿ります。《冬野の詩》《幻の花 ブルーポピー》《アフガンの王女》など、名作の数々で構成。常に新境地を切り拓いた堀文子の画業を立体的に体感いただけます。

2 本画と下図の対比から紐解く、知られざる創作のプロセス

ひとつの名作が誕生するまでに、画家はどのような思索を巡らせたのか。本展では、代表作の本画とともに、関連下図や初公開の小下図を公開します。下図に見える試行錯誤の跡を辿ることで、従来の鑑賞を超え、堀文子の芸術性を再考する貴重な機会となります。

3 「言葉」とともに、画家・堀文子の生き様を辿る

堀文子の魅力は、絵画のみにとどまりません。本展では、鋭い洞察と独自の人生観に満ちた「文筆家・エッセイスト」としての側面にも光を当てます。会場の随所に散りばめられた画家の至言とともに、その画業を回顧。一人の女性として凛として生きた堀文子の「人間の魅力」に迫ります。

4 【アトリエ再現】 画家の息遣いを感じる、創作の「現場」を公開

堀文子の神奈川・大磯のアトリエの一部を会場内に再現。実際に使用されていた作業台や絵具、愛用の筆といった貴重な遺愛品を特別公開いたします。世界各地の旅先で出逢った民芸品や、季節を彩った花籠など、画家の豊かな感性を刺激した品々もあわせて展示。本展ならではの見どころです。

5 【限定公開】 膨大なスケッチ帳の一部をスライドショーで一挙公開！

展示ケースの中では、一頁しかお見せすることのできない貴重な写生帖。本展ではその中身を、エントランスの大画面プロジェクターにて特別公開します。前期・後期でテーマを入れ替え、計4テーマをスライドショーで上映。堀文子の写生の魅力の本展限定でご堪能いただけます。

関連イベント

- 1 トークイベント「堀文子を語る」**

日 時：6月26日(金)13：20～14：50
 講 師：檀ふみ氏（俳優）×小倉文子（本学学長）
 参加費：無料 ※ただし、観覧券ご提示ください。（半券可）
 定 員：100名（応募者多数の場合は抽選）
 申込方法：当館ウェブサイト掲載 6月5日(金)応募締切、6月12日(金)までに結果を通知します

事前申込

会 場：2号館2階224教室(相模原キャンパス内)

- 2 学芸員によるスライドトーク**

日 時：7月4日(土)14：00～15：00
 参加費：無料 ※ただし、観覧券ご提示ください。（半券可）

事前申込

会 場：10号館1階1011スタジオ(美術館建物内)

- 3 学芸員によるギャラリートーク**

日 時：7月20日(月・祝) 14：00～(30分程度)
 参加費：無料 ※ただし、観覧券ご提示ください。（半券可）

会 場：展示室

- 4 本学学生によるワークショップ**

日 時：7月25日(土)14：00～
 参加費：無料 ※ただし、観覧券ご提示ください。（半券可）

事前申込

会 場：10号館1階1011スタジオ(美術館建物内)

- ・各イベント申込方法・詳細・最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。
- ・「事前申込」表記のないイベントは事前申込不要となります。
- ・イベントは都合により変更となる場合があります。

プレゼント＆無料観覧デー

<p>毎月「23」は「文（ふみ）子」の日 無料観覧デー</p> <p>会期中の23日は、どなたでも無料でご観覧いただけます。</p> <p>5月23日(土)、6月23日(火)、7月23日(木)</p>	<p>堀文子生誕記念 無料観覧デー & ポストカード先着50名様へプレゼント！</p> <p>作家の誕生日を記念して、美術館受付にてポストカードを配布します。</p> <p>7月2日(木)後期展初日 10:00～ (先着順・無くなり次第配布終了)</p>
---	---

【連携企画】平塚市美術館×女子美アートミュージアム（JAM）

観覧券の半券が「割引券」と「プレゼント券」に変わる！／2館をめぐるスタンプラリー

◎観覧券の半券で入館料割引またはプレゼント

<p>平塚市美術館にて</p> <p>女子美アートミュージアム「堀文子展」の半券提示で「観覧料割引」</p>	<p>女子美アートミュージアムにて</p> <p>平塚市美術館展覧会*の半券提示で「ポストカード」がもらえる</p>
--	--

*平塚市美術館

「特集展 花の表現、その多様性／特別展示 新収蔵品展」 ← 堀文子の作品が出品されます！

【前期】2026年4月18日(土)～6月28日(日) 【後期】6月30日(火)～8月30日(日)

◎スタンプラリー

2館にあるスタンプを重ねて捺すとオリジナルのポストカードが完成します

出品点数

作品約50点、下図・素描作品・写生帖・資料約200点

印刷物

展覧会図録、ポスター（B2）、
チラシ（A4 ※A3二つ折り）、
セルフガイド、創作キット



チラシ（A4 ※A3二つ折り）

ポスター（B2）

掲載テキスト案(以下のテキストは、そのまま掲載いただけます)

21文字

代表作と下図で迫る、堀文子の創作の出発点。

47文字

代表作と貴重な下図から、母校・女子美術大学を起点とする堀文子の「創作の出発点」を紐解く展覧会。

189文字

日本画家・堀文子（1918-2019）の画業を、母校・女子美術大学での原点から晩年の代表作まで一挙に展覧します。見どころは、創作の「出発点」である写生帖や小下図の初公開。アトリエ再現や画家の言葉を交え、創造のプロセスを解き明かします。相模原キャンパスの「ホルトの木」が象徴するように、今なお未来へ受け継がれる彼女の志と、孤高の筆致が切り拓いた独創的な世界に触れる貴重な機会です。

※広報画像使用については、p6、別紙をご参照ください。

【問い合わせ】

女子美アートミュージアム（女子美術大学美術館）

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学相模原キャンパス10号館1階

TEL：042-778-6801（美術館代表）

FAX：042-778-6815

MAIL：museum@venus.joshibi.jp

担当学芸員：藤森、沼澤

事務担当：重光、小寺

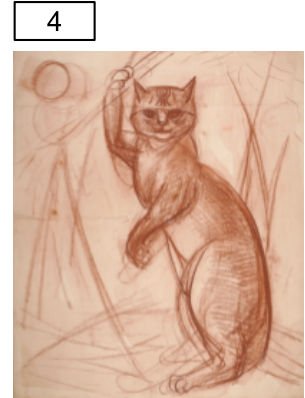
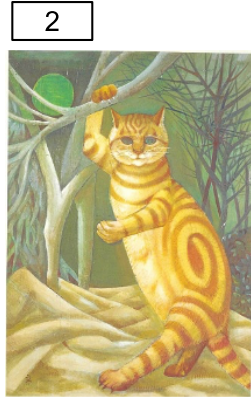
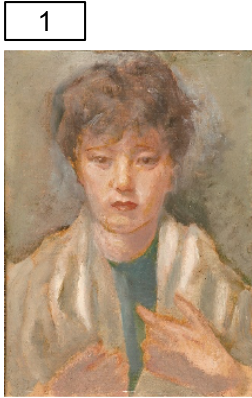


女子美アートミュージアムは
2026年に25周年を迎えます。



作品画像

※詳細は別紙をご参照下さい。



- 1 堀文子《自画像》1939年
- 2 堀文子《月と猫》1950年頃 株式会社米八グループ蔵
- 3 堀文子《月と猫 下図1》
- 4 堀文子《月と猫 下図2》
- 5 堀文子《冬野の詩》1988年 株式会社米八グループ蔵
- 6 堀文子《冬野の詩 下図1》
- 7 堀文子《冬野の詩 下図2》
- 8 堀文子《幻の花 ブルーポピー》2001年 株式会社米八グループ蔵
- 9 堀文子《ブルーポピー スケッチ》
- 10 堀文子《青い鳥を運ぶブルカの女(マドンナ)》2002年 株式会社米八グループ蔵
- 11 堀文子《青い鳥を運ぶブルカの女(マドンナ) 下図》
- 12 堀文子《アフガンの王女》2003年 個人蔵（葦崎大村美術館寄託）
- 13 堀文子《アフガンの王女 大下図》

※6、9、11、13 撮影：宮下晃久

「堀文子の出発点 ～女子美からはじまる写生帖・下図・本画～」 広報用画像申込書

宛先：女子美アートミュージアム「堀文子の出発点」展 広報担当者 宛

E-mail：museum@venus.joshihi.jp

■ 必要事項を本票にご記入または同内容の事項とご希望の図版番号を記入のうえ、メールにてお申込みください。

メールタイトルには「堀文子の出発点展広報画像申込」とご記入ください。

掲載紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願い申し上げます。

①お申込み日	年	月	日
②御社名			
③ご担当者氏名			
④住所	〒		
⑤TEL		FAX	
⑥E-mail			
⑦掲示媒体名 (雑誌名など)	【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他() 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 ()		
⑧メディアの形態			
⑨発行・放送予定日			
⑩ご希望の画像	図版番号 使用条件等 1～13のご希望の図版番号をご記入ください *写真画像への文字載せは不可です。 [] *原則、写真の画像加工(トリミング・色調整など)は不可。 但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *キャプション、クレジットは必ず明記してください。		
⑪連絡欄			

■ お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。

お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。

■ 使用にあたっては【広報用画像について】の内容をご了承いただくことが条件となります。

必ずご確認くださいませようお願いします。

■ 土日祝日は休業となります(会期中は日・祝)。ご連絡が滞る場合がございますのでご注意ください。

【広報用画像について】

- ・画像データはメールにて送付いたします。
- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・データを第三者に渡すことは禁止いたします。
- ・使用后、データは破棄してください。
- ・掲載にあたっては、正式名称と会期の表記をおこなってください。
- ・画像への文字載せは不可です。
- ・作品画像を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を併記してください。
- ・紙面掲載する電話番号は女子美アートミュージアム042-778-6801でお願いします。
- ・掲載誌(紙)は1部、展覧会担当 小寺までお送りください。
- ・Web サイトは公開後に URL をお知らせください。
- ・当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。
- ・取材及び記録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。

<広報用画像に関する問い合わせ先>
女子美術大学美術館
女子美アートミュージアム
TEL.042-778-6801
FAX.042-778-6815
展覧会担当：藤森、沼澤(学芸員)
重光、小寺(事務)